



早野龍五

Established by Shinichi Suzuki in 1946

スズキ・メソッド 指導者養成プログラム説明会

■2020 **2/9**(日) 開場 10:00

■新大阪駅前ココプラザ(大阪市立青少年センター)ホール
(新大阪駅東口徒歩7分)

午前の部(10:30~12:00)

- 早野龍五 才能教育研究会会長(東京大学名誉教授)のお話
 - 生徒の演奏(ヴァイオリン、ピアノ)
協奏曲 イ短調 1楽章(ヴィヴァルディ)、ユーモレスク(ドヴォルザーク)ほか
 - 才能教育研究会(スズキ・メソッド)と指導者養成プログラムの説明
- ※参加無料。ご希望の方は2月5日までにメールにて下記本部事務局までお申し込みください。

午後の部(13:00~18:00)

- 竹澤恭子 ヴァイオリン科特別講師マスタークラス
 - ・受講資格: 18歳以上の方であれば、どなたでも受講できます。
 - ・受講生: 6名(先着順。定員になり次第、締切らせていただきます)
 - ・受講時間: 40分(お一人様)
 - ・料金: 受講料 15,000円
伴奏料 5,000円(本会に伴奏者を依頼する場合。伴奏者をご自身で手配される場合は不要)
 - ・申込期間: 2019年12月9日(月)~2020年1月19日(日)
 - ・申込方法: 必要事項(お名前・年齢・連絡先・メールアドレス・演奏曲目・伴奏者の有無・本会元会員の方は親指導者名)を明記しメールにて下記本部事務局までお申込みください。
- ※聴講無料。ご希望の方は2月5日までにメールにて本部事務局までお申し込みください。

受講生
募集

- お問合せ先: 公益社団法人才能教育研究会 本部事務局
〒390-8511 長野県松本市深志 3-10-3
電話 0263-32-7171 mail:academy@suzukimethod.or.jp

詳細は本会ホームページ(www://suzukimethod.or.jp)をご覧ください。



竹澤恭子 ©松永学

世界 46 の国と地域で 40 万人がスズキ・メソッドで学んでいます

スズキ・メソッドとは

鈴木鎮一が創始した、幼児からの音楽教育法として国内はもとより広く世界に普及しています。ヴァイオリン、ピアノ、チェロ、フルートなどの楽器を通して、高い感性と美しい心を育み、集中力、忍耐力を養うという、音楽教育の域を超えた人間教育として注目を集めています。この教育法は「母語教育法」とも言われるように、すべての子どもが自由自在に言葉と話していることに着目しています。母親が子どもに言葉を語りかけるときの繰り返しと愛情を重視し、「どの子も育つ、育て方ひとつ」「人は環境の子なり」という理念に基づいて、研究を続けています。

才能教育研究会はスズキ・メソッドの礎となる松本音楽院が 1946 年に松本市に開設されてから、2016 年で 70 年を迎えました。現在、国内においては 2 ～ 3 歳から大人にいたるまでの約 1 万 5,000 人が約 1,000 人の先生とともに、また海外では世界 46 の国と地域で 40 万人にのぼる子どもたちが、スズキ・メソッドで学んでいます。

Profile

早野 龍五 (Ryugo Hayano)



世界最大の加速器を擁するスイスの CERN 研究所（欧州合同原子核研究機関）を拠点に、反物質の研究を行う。また、2011 年 3 月以降、福島第一原子力発電所事故に関して、Twitter から現状分析と情報発信を行う。新潮文庫「知ろうとすること。」を糸井重里氏と共著し、科学的に考える力の大切さを提唱。

- | | | |
|----------------|-----|----------------------------------|
| 1952 年 | 生まれ | 岐阜県大垣市出身、父の仕事の関係で松本に在住 |
| 1956 年 | | 松本音楽院にてヴァイオリンを習いはじめ、その後鈴木鎮一先生に師事 |
| 1964 年 | | 才能教育研究会第一回アメリカ演奏旅行(テン・チルドレン)に参加 |
| 1970 年 | | 長野県立松本深志高等学校卒業 |
| 1974 年 | | 東京大学理学部物理学科卒業 |
| 1979 年 | | 東京大学大学院理学系研究科修了、理学博士 |
| 1997 年～ 2017 年 | | 東京大学大学院理学系研究科教授 |
| 2017 年 6 月～ | | 東京大学名誉教授に就任 |
| 2010 年～ | | スズキ・メソッド OB・OG 会理事 |
| 2014 年～ | | (公社)才能教育研究会理事 |
| 2016 年～ | | 才能教育研究会(スズキ・メソッド)会長 |

反物質の研究により 2008 年仁科記念賞、第 62 回中日文化賞など受賞。

竹澤 恭子 (Kyoko Takezawa)



3 歳より才能教育研究会にてヴァイオリンを始め、山村晶一氏に師事。桐朋女子高校音楽科在学中に第 51 回日本音楽コンクール第 1 位、併せてレウカディア賞、黒柳賞を受賞。1986 年第 2 回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝を飾る。以来、“世界の KYOKO TAKEZAWA”として国際的スターダムを昇り続けている。

これまで、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、フィラデルフィア管、モントリオール響、ロンドン響、モスクワ放響、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、バンベルク響、バイエルン放響、リヨン管、フィンランド放響、ローマ・サンタ・チェチーリア管、ロイヤル・コンサートヘボウ管など、世界の主要オーケストラと共演。指揮者では、クルト・マズア、ゾービン・メータ、レナード・スラッキン、

○松永 学 シヤルル・デュトワ、リッカルド・シャイー、ケント・ナガノ、クリストフ・エッセンバッハ、ヘルベルト・ブロムシュテット、小澤征爾らと共演している。2011 年にはフィルハーモニア管弦楽団のスペインツアー、2012 年にはヘンゲルブロック指揮ハンブルク北ドイツ放送交響楽団の日本公演でソリストを務めた。2014 年には東京フィルハーモニー交響楽団 100 周年記念ワールドツアーのソリストを務め、パリ、ロンドンなどで高い評価を得た。また、アスペン、ルツェルンといった世界的な音楽祭にも出演を重ね、メニューイン、ロン＝ティボーなど国際コンクールの審査員も数多く務める。水戸室内管弦楽団、セイジオザワ松本フェスティバルへ参加するなど、国内でも、協奏曲、室内楽、リサイタルと幅広く活躍。CD は、RCA レッド・シールより多数リリース。

第 3 回出光賞、愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞。

使用楽器は、日本音楽財団より貸与された 1735 年製作のストラディヴァリウス「サマズィユ」。パリ在住。

オフィシャルホームページ <http://www.kyokotakezawa.com/>

才能教育研究会ヴァイオリン科特別講師。